

名古屋アクセスクリニックを受診されるかたへ

シャント診察・シャントのトラブルで、はじめて受診されるかた

お名前 様

受診日 月 日 () 時 分

持ちもの (あるもので結構です。)

- ☐ **マイナンバーカード、資格確認書のいずれか**
マイナンバーカードがあると保険情報の入力間違い等のミスを防ぐことができます。医療費助成制度の確認にも有効なので、カードをお持ちの方はできるだけ持参してください。
- ☐ **各種医療証**
特に「特定疾病療養受療証」「障害者医療証（通称マル障・マル福）」
- ☐ **診療情報提供書**
事前に紹介元医療機関からFAXをいただいている場合もありますので、持参用の書類・封筒を受け取られた方だけで結構です。
- ☐ **お薬手帳**
普段飲んでいるお薬を確認します。
- ☐ **現金またはクレジットカード**
当院のお会計は現金・クレジットカード・各種キャッシュレス決済も使えます。
- ☐ **医師に聞きたいことのメモ書き**
聞きたいことがあっても診察時には忘れてしまうことがよくあります。あとから「聞くのを忘れた！」とならないように、簡単でよいのでメモ書きを用意しておくことをおすすめします。
- ☐ **止血バンド・止血ベルト 2本**
シャント狭窄やシャント閉塞の治療後に使用します。透析で使用している止血ベルトをお持ちください。当院で購入していただくこともできます（1本600円）。

治療の当日について

受診の日に、診察・検査のあと、そのまま治療（風船で血管を広げる「PTA」など）を行うことがあります。

- かかる時間は、単純なPTAなら来院から帰宅まで1時間ほどです。シャントが詰まっている（閉塞）場合の治療では、3時間をこえることもあります。
- 服装：検査着を御用意します。人工血管移植等の外科手術を行う可能性がある時は、術後に包帯を巻くことがありますので、腕まわりがゆったりとした服をおすすめします。

治療後も自動車の運転は可能です

PTA等の血管内治療では、感覚だけ麻酔する「皮神経ブロック」を行うので、運転は可能です。

例外的に運転ができない場合もあります

ごく一部の手術（当院の手術の1%未満。「過剰血流」「シャント瘤」の手術など）では、痛みをしっかりとるために、腕が数時間動かない麻酔（腕神経叢〔ソウ〕ブロック）を行うことがあります。麻酔後は運転ができません。そのような手術が予想されるかたには事前にお伝えしますので、タクシーまたは付添いの方の運転でお越しください。

当院への道順



スマートフォンで
読み取ってください

スマートフォンの地図で道案内

スマートフォンの「カメラ」アプリを開き、左のQRコードにかざして読み取ると、Googleマップで当院までの車の経路が表示されます。

途中で「位置情報の使用を許可しますか」という確認が出ることがあります。道案内のために現在地を使うだけで、危険なものではありませんので、「許可」を選んでください。

カーナビを利用される方へ

当院の住所は、**名古屋市 名東区 社が丘1-111-1** ですが、カーナビで住所を入力する時は「社が丘1-109」「電話番号052-703-1141」（お隣の勲和株式会社さんの住所と電話番号です）で検索して下さい。

電車でお越しのかたへ

地下鉄東山線「本郷駅」から当院までは、ゆっくり歩いて約7分です。本郷駅からの送迎もいたしますので、ご希望のかたはお電話でお申し出ください。

分からないこと、聞きたいことがあればお電話ください。

☎ 052-753-3720

受付 8:45～17:00(木・日・祝休診)

院内に不在で固定電話に出られない時は院長の携帯電話に転送されます。



当院webサイト